

概要

アジャスタースラブは、老朽化や著しく損傷した場所打ち側溝の上部を大型蓋板に取り替えることで、既存側溝の延命を図る改修工法です。

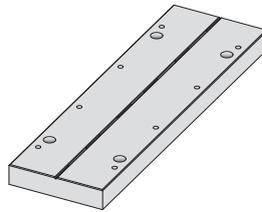
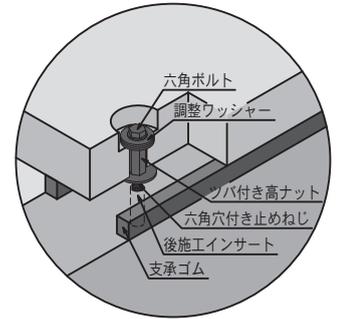
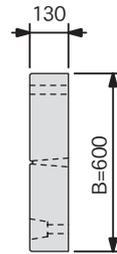
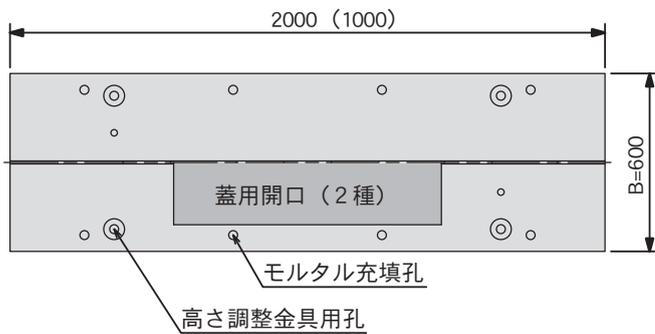
特長

- 場所打ち側溝の上部を改修する工法のため、掘削や取り壊しが最小限となり、大幅に工期を短縮できます。
- グラウト充填により既設側溝と蓋板が密着するため、ガタツキによる騒音の発生を抑制し、歩行者の転倒事故を防止します。
- 連続したスリットのため速やかに雨水を排出できます。
- ボルトにより高さ調整を行うため、精度の高い施工を容易に行えます。
- 上面に滑り止め模様を設けているため、滑面のコンクリート蓋に比べて安全性と景観性に優れます。

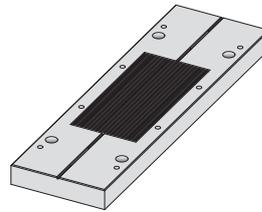
製品形状

B=600~1000対応可能です。

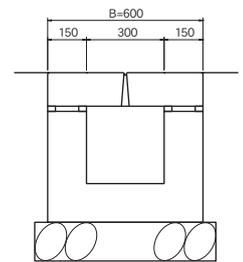
例 (B) 600×(L) 2000×(T) 130：側溝幅300用



1種 (蓋無し)



2種 (グレーチング蓋)



参考断面例

- ※ T-25縦断荷重に対応しています。
- ※ 出入口、横断にも対応しています。

改修前



改修後

